

市政・市議会の概要

令和7年5月

半 田 市 議 会

《 半 田 市 の 沿 革 》

半田市は、名古屋市の南、中部国際空港の東にあり、知多半島の中央部東側に位置しています。古くから海運業、醸造業などで栄え、知多地域の政治・経済・文化の中心都市として発展してきました。

半田市の象徴は、「山車」・「蔵」・「南吉」・「赤レンガ」。

◎山車

山車祭りの歴史は古く、300年余の歴史があり、その伝統や文化を現在に受け継いでいます。春に曳き廻される山車は、精緻を極めた彫刻、華麗な刺繍幕、精巧なからくり人形などが備えられ、その壮観な姿は「はんだびと」の誇りです。なかでも「亀崎潮干祭の山車行事」は、ユネスコ無形文化遺産に登録され、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。また、5年に一度、各地区の山車31輛が勢揃いする「はんだ山車まつり」は55万人もの観客が訪れます。

◎蔵

半田運河沿いには、醸造業に代表される黒板囲いの醸造蔵が今も残っており、当時の風情を今へと伝えていきます。

◎南吉

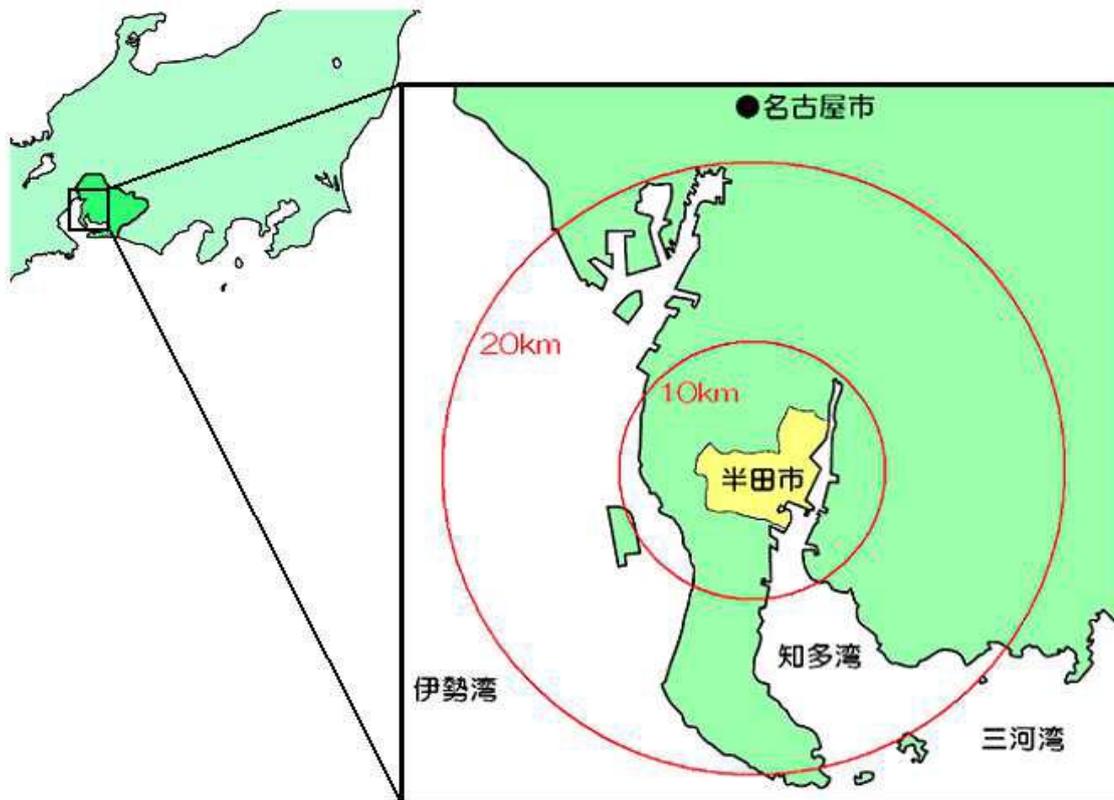
小学校の教科書でもおなじみの童話「ごんぎつね」。作者の新美南吉は、半田に生まれ育ち、郷土をこよなく愛した作家です。彼の描いた物語には、ふるさとの豊かな自然、その中で生きる人々の思いやりやさしさがあふれています。「ごんぎつね」に登場する矢勝川沿いの堤には、毎年300万本を越す彼岸花が咲き誇ります。

◎赤レンガ

半田赤レンガ建物は、明治31年、丸三麦酒株式会社のビール工場として誕生。当時は、大都市の4大ビールメーカーがほとんどのシェアを占めていた時代で、地方都市からの果敢な挑戦に、半田の先人たちの心意気を感じられます。現存するレンガ造りの建物として最大級の規模を誇り、国の登録有形文化財、経済産業省の近代化産業遺産に認定されています。

市の概要

市 制 施 行 年 月 日		昭和12年10月1日	
市 役 所 の 所 在 地		半田市東洋町二丁目1番地	
市 役 所 の 位 置		東経 136度56分16秒 北緯 34度53分33秒	
面 積 等	面 積	47.4km ²	
	広 ぼ う	東西最長 9.76km 南北最長 8.22km 海岸線 10.70km	
	海 抜	最高 83.7m (行人町15番地の11)	
総人口及び世帯数 (令和7年4月1日現在)	男	58,687人	
	女	57,148人	
	計	115,835人	
	世 帯 数	53,551世帯	
産 業 別 就 業 人 口 (令和2年国調)	第1次	822人	1.4%
	第2次	21,153人	36.9%
	第3次	33,937人	59.2%
	分類不能	1,428人	2.5%
	計	57,340人	100.0%



1. 議会構成

議員数	条例定数	22人						
	現員数	22人						
会派別議員数内訳 (令和7年5月1日現在)	会派	人員						
	創造みらい半田	12人						
	公明党	3人						
	つなぐ未来	2人						
	チャレンジはんだ	2人						
	無所属	3人						
年齢別議員数 (令和7年5月1日現在)	年齢	～39	40～49	50～59	60～69	70～	平均	
	人員	1人	5人	7人	7人	2人	55.1歳	
当選回数別議員数 (令和7年5月1日現在)	回数	1	2	3	4	5	6	8
	人員	6人	5人	1人	3人	4人	2人	1人

2. 議会運営の状況

議会運営委員会の開催		議会告示日（招集日の7日前） 定例会最終日2日前
定例会の流れ	(6・9・12月定例会)	(3月定例会)
	1 議案上程・提案説明 2 一般質問 3 議案質疑・付託 4 委員会審査 5 委員長報告・討論・採決 6 決算議案上程・提案説明・質疑・付託（9月のみ） 7 委員会審査（決算）（9月のみ） 8 委員長報告・討論・採決（9月のみ）	1 市長施政方針 2 補正予算議案上程・提案説明・議案質疑・付託 3 新年度予算、その他議案上程・提案説明 4 委員会審査（補正予算） 5 委員長報告・討論・採決 6 各派代表質問 7 一般質問 8 新年度予算、その他質疑・付託 9 委員会審査（新年度予算、その他） 10 委員長報告・討論・採決
一般質問	通告期限	告示日3開庁日前の午後3時まで
	内容	「市政全般」に関するもの
	質問順	抽選
	時間制限	（一問一答方式）質疑・答弁含め60分以内 （総括方式）なし
	再質問の回数	（一問一答方式）制限なし （総括方式）2回まで
	関連質問	（一問一答方式）認めない （総括方式）通告発言者の発言が終わったら許可
代表質問	質問場所	最初の質問：質問席 再質問：自席
	通告期限	3月定例会初日の正午まで
	内容	「新年度市長施政方針」に対するもの
	質問順	抽選
	質問方式	総括方式
	時間制限	なし（60分程度）
再質問	再質問の回数	2回まで
	質問場所	最初の質問：質問席 再質問：自席

3. 議会活動実績

(1) 議会開催回数・会期延日数

区 分	令和4年			令和5年			令和6年		
	回数	会期 日数	開議 日数	回数	会期 日数	開議 日数	回数	会期 日数	開議 日数
定例会	4	85	18	4	89	20	4	4	15
臨時会	6	7	7	3	4	4	4	5	9
計	10	92	25	7	93	24	8	92	24

(2) 議案件数

年 提出 区分	令和4年			令和5年			令和6年		
	市長	議員	その他	市長	議員	その他	市長	議員	その他
件 数	98	10	18	89	6	16	127	9	2
可 決	88	9	3	82	6	7	116	9	2
認 定	4			4			4		
承 認	1						1		
同 意	2		2	3			4		
答 申							2		
選 任	2		4			3			
了 承									
推 薦									
選 挙			6			6			
許 可			3						
否 決		1							
修正可決									
採 択									
不 採 択									
趣旨採択									
継続審査									
一部採択									
撤 回									

(3) 請願件数

年 区分	令和4年	令和5年	令和6年
件 数	0	0	0
採 択	0	0	0
趣 旨 採 択	0	0	0
一 部 採 択	0	0	0
不 採 択	0	0	0
継 続 審 議	0	0	0
審 議 未 了	0	0	0

(4) 陳情件数

区分	年	令和4年	令和5年	令和6年
計		21	21	22
採 択		1	1	1
不 採 択		10	12	12
趣 旨 採 択		0	0	1
そ の 他		10	5	8

(5) 常任委員会所管事項

委 員 会	定数 (現員)	所 管 事 項
総 務	8 (8)	企画部、総務部、会計課、市議会事務局 選挙管理委員会、監査委員事務局、公平委員会 その他常任委員会の所管に属しない事項
文 教 厚 生	7 (7)	教育委員会、福祉部、子ども未来部
建 設 産 業	7 (7)	建設部、水道部、市民経済部、農業委員会

(6) 常任委員会開催回数・状況、付託(送付)件数(令和6年)

区 分	開 催 回 数			付 託 (送 付) 件 数		
	会 期 中	閉 会 中	計	議 案	請 願	陳 情
総 務	18	6	24	23	0	5
文 教 厚 生	19	3	22	34	0	5
建 設 産 業	20	8	28	31	0	1

(7) 議会運営委員会開催状況・所管事項(令和6年)

条 例 定 数	開 催 回 数			所 管 事 項
9 (現員8名)	会期中	閉会中	計	議会の運営、議会の会議規則・委員会に関する条例等、議長の諮問
	16	15	31	

(8) 特別委員会開催状況・設置目的(令和6年度)

特 別 委 員 会	設 置 期 間	人 員	開 催 回 数	設 置 目 的
歴史・文化を活用したまちづくり調査	R6.6.28 ~R7.3.26	10	8	歴史・文化の保存計画から活用方法の検討について
公共空間の有効活用調査	R6.6.28 ~R7.5.15	9	8	日常的に中心市街地へ人が集まる取り組みについて

(9) その他の会議開催状況(令和6年)

会 議 名	回 数
全 員 協 議 会	15
議 員 全 体 会 議	0
委 員 長 連 絡 会 議	1
各 派 代 表 者 会 議	0
政 治 倫 理 審 査 会	0
政 務 活 動 費 管 理 委 員 会	8
議 会 広 報 誌 編 集 委 員 会	12
議 会 P R 委 員 会	7
議 会 I C T 推 進 委 員 会	9
議 員 総 会	5

4. 報酬(月額)

	区 分	月 額	改定年月日
特別職報酬	市長	1,076,000円	令和7年4月1日
	副市長	885,000円	
	教育長	785,000円	
議員報酬	議長	555,000円	
	副議長	503,000円	
	議員	466,000円	

◎ 期末手当（令和7年4月1日改定）

6月	12月	計
<u>172.5</u>	<u>172.5</u>	<u>345</u>
100	100	100

※報酬月額に45/100を加算した額に上記の率を乗じて得た額

5. 費用弁償（視察旅費）（令和7年度）

区 分	年 額
常任委員会視察	(1人) 100,000円
特別委員会視察	(1人) 50,000円
議運視察	(1人) 50,000円

6. 委員会県外視察先（令和6年度）

委員会名	視察先
総務委員会	延岡市、始良市、霧島市
文教厚生委員会	茅野市、杉並区、足立区、渋谷区、NPO法人AIKURU、
建設産業委員会	徳島市、上勝町、坂出市
議会運営委員会	福知山市、尼崎市
公共空間の有効活用調査特別委員会	神戸市、岡山市
歴史・文化を活用したまちづくり調査特別委員会	牛久市、我孫子市

7. 主な視察受入れ（令和6年度）

視察内容	件数	受入議会
議会改革の取組（タブレット、事業評価、電子採決システム、ICTの活用、開かれた議会の醸成、政策提言）	7	茨城県つくば市、愛知県阿久比町、広島県三次市、大阪府大東市、静岡県御殿場市、群馬県渋川市、岡山県玉名市
総合型地域スポーツクラブ	4	鳥取県、千葉県香取市、東京都あきる野市、東京都足立区
マイレポはんだ	3	茨城県鹿嶋市、宮城県名取市、岡山県玉野市
部活動の地域移行	2	長野県東御市、千葉県香取市
重層的支援体制整備事業	2	京都府八幡市、千葉県四街道市

8. 政務活動費 1人当たり 150,000円/年（平成28年度から支給）

主な特徴

- ・ 政務活動費の適正な使用を確認するため、政務活動費管理委員会を設置している。
- ・ 年額を先に受けとり残金を返すのではなく、使った分を請求する「後払い制」を採用。
- ・ 計画書、報告書、領収書等はすべてホームページで公表している。

令和6年度交付率	61.03%
----------	--------

9. 市議会広報・広聴

<議会広報誌編集委員会>

議会広報誌の編集発行に関する必要な事項について協議又は調整を行うための場。

(令和6年度実績)

「市議会だより」の発行

発行回数	年5回(2月、5月、7月、9月、11月)
配布方法	市報折込み
発行部数	40,000部/回
ページ数	8~12頁/回
年間総ページ数	54頁

<議会PR委員会>

市民との双方向の連携充実に関する必要な事項について協議又は調整を行うための場

(令和6年度実績)

PR戦略の作成

HANDA若者議会(愛知県立半田工科高等学校との意見交換会)

<議会ICT推進委員会>

議会のICT推進に関する必要な事項について協議又は調整を行うための場

(令和6年度実績)

- 請願・陳情の手続きのオンライン化
- オンライン委員会の開催に係る事項の整理
- 委員会ライブ配信の検討

<その他の広報広聴活動>

ホームページの公開(主な掲載内容)

- 本会議・委員会の日程、議員(会派、委員会)名簿、議案、会議録検索
- 市議会だより、請願・陳情、キッズページ

10. 市議会事務局の組織及び配置人数

市議会事務局長(1) — 議事課長(1) — 副主幹(1) — 主査(1) — 担当(3)

11. 予算（令和7年度当初予算）

歳 入

科 目	予算額（千円）	構成比(%)
○ 1 市 税	24,571,922	50.1
2 地方譲与税	339,352	0.7
3 利子割交付金	14,000	0.0
4 配当割交付金	180,000	0.4
5 株式等譲渡所得割交付金	159,000	0.3
6 法人事業税交付金	447,000	0.9
7 地方消費税交付金	3,252,000	6.6
8 ゴルフ場利用税交付金	20,000	0.0
9 自動車所得税交付金	1	0.0
10 環境性能割交付金	92,000	0.2
11 地方特例交付金	165,088	0.3
12 地方交付税	799,282	1.6
13 交通安全対策特別交付金	19,000	0.0
○ 14 分担金及び負担金	238,905	0.5
○ 15 使用料及び手数料	762,753	1.6
16 国庫支出金	7,988,076	16.3
17 県支出金	3,235,233	6.6
○ 18 財産収入	219,242	0.5
○ 19 寄附金	101,892	0.2
○ 20 繰入金	1,073,603	2.2
○ 21 繰越金	350,000	0.7
○ 22 諸収入	1,999,151	4.1
23 市 債	3,052,500	6.2
歳入合計	49,080,000	100.0
自主財源（○印）	29,317,468	59.7
依存財源	19,762,532	40.3

歳 出

科 目	予算額（千円）	構成比(%)
1 議会費	292,230	0.6
2 総務費	4,942,108	10.1
3 民生費	20,187,813	41.1
4 衛生費	4,949,035	10.1
5 農林水産業費	186,915	0.4
6 商工費	985,765	2.0
7 土木費	5,984,271	12.2
8 消防費	1,354,222	2.7
9 教育費	9,034,145	18.4
10 災害復旧費	6	0.0
11 公債費	1,133,489	2.3
12 諸支出金	1	0.0
13 予備費	30,000	0.1
歳出合計	49,080,000	100.0

一般会計性質別歳出内訳

科	目	予算額 (千円)	構成比(%)
○ 1	人件費	7, 236, 300	14. 8
2	物件費	9, 265, 064	18. 9
3	維持補修費	373, 195	0. 8
○ 4	扶助費	12, 123, 096	24. 7
5	補助費等	6, 113, 626	12. 4
6	普通建設事業費 (うち、人件費)	7, 480, 546 (206, 015)	15. 2 (0. 4)
7	災害復旧事業費	6	0. 0
○ 8	公債費	1, 133, 489	2. 3
9	積立金	228, 079	0. 5
10	出資金	317, 274	0. 6
11	貸付金	212, 509	0. 4
12	繰出金	4, 566, 816	9. 3
13	予備費	30, 000	0. 1
歳出合計 (うち人件費)		49, 080, 000 (7, 442, 315)	100. 0 (15. 2)
義務的経費 (○印)		20, 492, 885	41. 8
投資的経費		7, 480, 552	15. 2
その他経費		21, 106, 563	43. 0

[特別会計 (7会計)]

単位 (千円)

乙川中部土地区画整理事業	474, 570
J R半田駅前土地区画整理事業	571, 463
地方独立行政法人知多半島総合医療機構病院事業債管理	1, 408, 478
駐車場事業	48, 803
モーターボート競走事業	6, 124
国民健康保険事業	9, 936, 633
介護保険事業	9, 825, 620
後期高齢者医療事業	2, 032, 002
合計	24, 303, 693

[企業会計 (2会計)]

単位 (千円)

水道事業	収入	2, 536, 634
	支出	3, 267, 438
下水道事業	収入	4, 711, 741
	支出	5, 733, 512
計	収入	7, 248, 375
	支出	9, 000, 950

12. 財政の状況

区 分	金 額 等	備 考
基準財政需要額 (A)	21,353,191 千円	令和6年
基準財政収入額 (B)	20,404,933 千円	令和6年
地方交付税交付基準額 (A-B)	948,258 千円	令和6年
普通交付税交付額	948,258 千円	令和6年
特別交付税交付額	177,715 千円	令和5年
財政力指数 (3カ年平均)	0.955 (0.963)	令和6年 (令和4年~令和6年)
標準財政規模	27,159,178 千円	令和6年
経常収支比率	83.4%	令和5年
公債費負担比率	4.6%	令和5年
実質赤字比率	— %	令和5年
連結実質赤字比率	— %	令和5年
実質公債費比率	0.6%	令和5年
将来負担比率	— %	令和5年

13. 行政機構 (令和7年4月1日現在)

